

# 飛魚



## 第36号

令和7年7月

社会医療法人 義順顕彰会 種子島医療センター

<https://www.tanegashima-mc.jp/>



TANEGASHIMA  
MEDICAL CENTER

表題「飛魚」：田上悠峯 書

「悠峯」とは、義順顕彰会会長 田上容正が、公益財団法人  
日本習字教育財団から命名された雅号です。

表紙一「研修医からの画像メッセージ」について

毎年、種子島医療センターには、全国から多くの研修医がやってきます。2024年度は31名が、1ヵ月から2ヵ月の期間、種子島医療を学び、種子島暮らしを満喫しました。毎回、研修最後の研修医症例発表会では、症例報告と一緒に印象に残った種子島での思い出を紹介してくれます。表紙の写真は「研修医からの画像メッセージ～研修医が選んだ種子島の医療と自然と遊びと食～」の一部です。研修医症例発表会では、地元職員も知らない種子島の魅力を教えていただくことが多く、短期間ですが、研修医の皆さんとの交流は私たちにとって楽しみとなっています。

表紙写真：2024年度研修医

## 理念

# 島民の皆さんに愛され 信頼される病院

私たちは思いやりの心と  
技術を研鑽する真摯な姿勢で  
豊かな地域医療の向上に努めます

## 基本方針

### 1. 地域に根ざし、信頼される病院

- ・誰でも、いつでも安心して利用できる、地域に密着した病院作りをいたします。
- ・救急体制を充実し、24時間対応します。
- ・地域医療機関などとの連携を図り、必要に応じた役割りを果たします。

### 2. 温もりと思いやりのある医療を提供する病院

- ・各部署の強い連携により温もりのあるチーム医療を行います。
- ・患者様の権利を尊重し、安全医療の推進に努めます。
- ・快適かつ安心して医療を受けられる療養環境を提供いたします。

### 3. 医療の質を高め、お互いに学び合える病院

- ・医療人として専門知識、技術の研鑽に努めます。
- ・患者様共々学びあい、ニーズに合った地域医療を目指します。

# 目次 *Contents*

理念・基本方針	
卷頭言 病院長 高尾 尊身	4
理事長挨拶 理事長 田上 寛容	6
<hr/>	
病院概要	
沿革	10
概要	17
組織図	19
委員会・会議組織図	20
在籍医師紹介	21
職員数	24
病院日誌	25
<hr/>	
実績	
種子島医療センター 統計資料	31
診療部門	39
診療支援部門	50
へき地医療センター	57
田上診療所	59
介護老人保健施設 わらび苑	61
関連施設	63
<hr/>	
寄稿	
短歌入門 会長 田上 容正	66
7年間の診療を振り返って 副院長 濱之上 雅博	68
令和6年度鹿児島県医師会長賞（看護業務功労）	
受賞に寄せて 看護部長 園田 満治	69
種子島医療センターでの診療を振り返って	69
研修医からの画像メッセージ	72
種子島医療センターでの研修を終えて	74
<hr/>	
部門別紹介	
【診療部】	
外科（消化器・乳腺甲状腺）	77
消化器内科	77
循環器内科	78
整形外科	79
小児科	80
麻酔科	81
救急科	82
【看護部】	
看護部長室	84
外来	86
手術室・中央材料室	87
2階病棟（外科・脳外科・整形外科病棟）	88
3階西病棟（内科・眼科・小児科病棟）	89
3階東病棟（地域包括ケア病棟）	90
4階病棟（回復期リハビリテーション病棟）	91
透析室	92
外来化学療法室	93
ナースエイド（看護助手）室	94
【診療支援部】	
薬剤室	96
画像診断室	97
臨床検査室	98
臨床工学室	99
栄養管理室	100
リハビリテーション室	101
組織図	102
チーム紹介	103
活動紹介	105
療法士修了証一覧	106
理学療法学科実習生受け入れ一覧	106
地域医療連携室	107
クラーク室	108
【事務部】	
総務課	110
医事課	111
広報企画課	112
【直轄部門】	
医療安全管理室	114
感染制御部	115
経営企画改善室	116
システム管理室	118

---

## 院内委員会活動

---

緩和ケアチーム	120
看護部教育委員会	121
リスクマネジメント委員会	122
化学療法委員会	123
認知症ケアワーキンググループ	124
医療安全管理委員会	125
N S T（栄養サポートチーム）委員会	126
輸血療法委員会	126
転倒転落防止委員会	127

---

## 関連施設

---

田上診療所	130
訪問看護ステーション 野の花	131
訪問リハビリテーション事業所	132
介護老人保健施設 わらび苑	133
院内保育所	134

---

## 活動紹介

---

種子島医療センターサーフィン部 (TSC)	138
種子島医療センターバスケット部 (MEDS)	139
プロテニスプレーヤー 姫野ナル	139
医療講座	140
報道・広報関係	141

---

## 研究・研修

---

病院長が選ぶ GOOD JOB 賞	146
病院長学術関連業績	147
医師業績	148
看護師業績	148
療法士業績	149
院内研修会実施状況	150
研修報告書優秀者	152
永年勤続表彰者	154

編集後記

# 卷頭言

## 離島医療はなぜ面白いのか? —ワクワクする医療を求めて—



社会医療法人義順顕彰会  
種子島医療センター  
病院長 高尾 尊身

救急車のサイレンが、静かな小さな島に響き渡る。

救急外来に運ばれた患者さんの苦悶の表情、そして切羽詰まった呼びかけ。離島の救急医療は、常に予測不能なドラマの連続。一刻を争う命を救うためには、高度な専門知識と技術に加え、冷静沈着な判断力、そして何よりも揺るぎない使命感が求められます。

離島医療には、都会の病院ではなかなか味わえない、特別な使命感と深い達成感があります。高齢化が進むこの島では、患者さん一人ひとりの人生に、医療という側面から深く関わることになります。単に病気を治すだけでなく、その方の生活背景や家族関係、そしてこれまでの人生そのものに寄り添う中で、医療者としての責任の重さを改めて感じるのであります。

ヘリ搬送の舞台裏は、まさにチーム医療です。パイロット、看護師、そして医師それぞれのプロフェッショナルが、互いの専門性を尊重し、密に連携することで、島から遠く離れた本土の病院へと、患者さんの大切な命を繋いでいくのです。そこには常に予測不能な天候との戦いがあり、一分一秒を争う時間との厳しい制約が存在します。チームのそれぞれが持つ知識、経験、そして強い使命感によって乗り越えた先に、ようやく患者さんの命が繋がるという、重く、そして何よりも尊い現実があるのであります。

過疎化が進む離島に、近年、若い研修医たちが集まるようになり、希望の島となりつつあることは、大変喜ばしいことです。都会の喧騒を離れ、この地に敢えて飛び込んでくる彼らの存在は、離島医療が持つ独特の魅力が、次世代の医師たちの心にも響いている証拠と言えるでしょう。

本土ではなかなか経験できない多様な症例、限られた資源の中で求められる臨機応変な対応力、そして何よりも患者さんとの深い繋がり。こうした離島医療ならではの経験は、若い医師たちにとって、教科書だけでは決して学ぶことのできない、貴重な成長の機会となるはずです。

一方、この島には、医療という枠を超えた、人を惹きつける特別な魅力があります。その最たるもののが、サーフィンに代表されるマリンスポーツと年に一度開催される鉄砲まつりの最大の踊り連でしょう。また、何と言っても、この島の料理は格別です。獲れたばかりの新鮮な魚介類は、都会では決して味わえない滋味深さがあり、口にした瞬間に豊かな磯の香りが広がります。

しかしながら、私がこの島で最も心を奪われたのは、強烈なインパクトを与えるロケット打ち上げです。ロケットが宇宙を目指して力強く飛び立つ、あの圧倒的なスケール感とエネルギーを目の当たりにすると、医療の現場での日々の悩みなど、まるで取るに足りない小さなことのように感じられてしまうのです。

教科書通りの医療だけでは得られない、予測不能な状況に臨機応変に対応する力、患者さんの生活全体を支える視点、そして何よりも、人と人との心の触れ合い。こうした、心を躍らせるような、人間味あふれる、ワクワクする医療を求めて、私たちは今日もこの島で、患者さんと向き合っています。



2024年度も離島医療を担う次世代の医師や職員が多く入職した。

# 理事長挨拶

## 種子島を健康な島にしたい



社会医療法人義順顕彰会  
種子島医療センター  
理事長 田上 寛容

健康とは、世界保健機関（WHO）によると“単に病気や虚弱がない状態のことではなく、肉体的、精神的、社会的に完全に満たされた状態である”とされています。

簡単に言うと、体が元気で病気をすることなく、悩むことなくいつも生き生きとしていて、それでいて、なんの不自由もなく生活できているということでしょうか。でも人間はある程度年を重ねてくると、どこか体の不調を感じたり、何か悩みを抱えたり、多少なりとも生活における不自由を感じるのは当然のことだと思います。

外来に90歳を過ぎた高齢者が定期受診に来られます。

くすりを定期的に何種類か服用しており、足取りもおぼつかず杖を突いています。年齢相応の物忘れもあり、耳もずいぶん遠くなっているようです。そんな方に「調子はどうですか？」と聞くと「どうもなかろ」と答えます。「普段何をされていますか？」と聞くと、「毎日、畑の見回りをして、たまに草を取ったりしといろ」と言われます。さて、傍からみれば大変そうな生活をされているようですが、本当にどうものないのでしょうか。

もちろん、全く不自由なことはないとはいえないでしょう。おそらく、その方にとって自分はこんなもんだと考えているのだと感じます。つまり、そんな加齢に伴う体の変化を受け入れて、ささやかな楽しみとともに毎日を穏やかに過ごすことが出来ている。そんな方なのだと考えます。

ただ、皆さんがそんな方ばかりではありません。外来に通院されている方の中には、常に体の不調を訴える方や、いつも何かしらの心配をしている方も多くおられます。もちろん病気のことであれば治療で状態を良くすることは出来ますが、年齢的な変化や生活環境については、医師としてできることには限界があります。

これまでの医療は病気を治すことを主な目的としていましたが、今では予防医療や在宅医療、介護福祉も医療の一部として切り離せなくなっています。種子島のような高齢化が進む地域ではなおさらです。

これまで当法人は、開設以来55年もの間、種子島に必要な医療介護の提供をしようと事業を行ってきましたが、この少子高齢化が進んだ時代に、島民がこれからも島で安心した生活を続けるためには、法人の持つ機能だけでは成り立たなくなってきたと感じています。これからは、行政や島内のさまざまな施設とあらゆる分野で連携し、そして機能を集約化していくことが必要だと思います。

私は“種子島を健康な島にしたい”と思っています。コロナ禍以降、医療介護業界を取り巻く状況は大変厳しくなってきてますが、この状況を乗り切り、未来における最適な種子島の医療介護を次の世代に受け継いでいくためにはオール種子島で取り組んでいくことが重要だと思います。

私は、種子島に住む方が病気で困ることなく、この豊かな自然の中で生き生きと生活することが出来て、ここに住んでいて良かったと思えるような種子島にするための医療介護を提供したいと考えます。

それこそが“種子島を健康な島にする”ということなのだと思います。



ほぼ月に1回、西之表の各公民館へ出向き、「出張医療講座」を行っています。  
皆さんに大いに笑っていただくことも「種子島を健康な島にする」大切な医療介護だと思っています。



---

# 病院概要

---

沿革  
概要  
組織図  
委員会・会議組織図  
在籍医師紹介  
職員数  
病院日誌

---



夏から秋にかけ、あちらこちらに見事なひまわり畑が出現します。

# 沿革

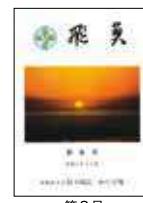
1969年 (昭和44年)	12月	田上容正内科開院	1994年 (平成6年)	1月	MRI設置 脳神経外科新設 標榜科目8 (内科、外科、 整形外科、 皮膚科、小児科、 耳鼻咽喉科、 理学療法科、 脳神経外科) 2月 病床数202床になる 6月 高気圧酸素治療装置導入 7月 泌尿器科新設 標榜科目9 (内科、外科、整形外科、 皮膚科、小児科、 耳鼻咽喉科、理学療法科、 脳神経外科、泌尿器科)
1980年 (昭和55年)	2月	人工透析開始			
1981年 (昭和56年)	9月	医療法人容正会設立			
1982年 (昭和57年)	5月	28床になる			
1984年 (昭和59年)	3月	56床病院を新築 全身用CTスキャナ導入	1995年 (平成7年)	1月	病床種別変更 (一般病床157床・ 療養型病床群45床)
	7月	医療法人義順顕彰会 田上病院設立		3月	わらび苑 痴呆棟開設のため 78床に増床 (痴呆20床、 一般58床)
1985年 (昭和60年)	11月	病床数99床になる			
1987年 (昭和62年)		救急告示病院認定			
1989年 (平成元年)	12月	20周年記念 院内誌『飛魚』 創刊	1996年 (平成8年)	11月	理学療法科を リハビリ テーション科へ 変更 リウマチ科新設 標榜科目10 (内科、外科、 整形外科、皮膚科、小児科、 耳鼻咽喉科、 リハビリテーション科、 脳神経外科、泌尿器科、 リウマチ科)
1990年 (平成2年)					
1991年 (平成3年)	7月	介護老人保健施設 わらび苑開設 (入所50床、 通所10名)	1997年 (平成9年)	4月	眼科新設 標榜科目11 (内科、外科、 整形外科、 皮膚科、小児科、 耳鼻咽喉科、
1992年 (平成4年)					



第6号



第7号

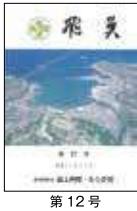


第8号

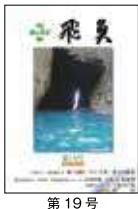


第9号

1998年 (平成10年)	5月	リハビリテーション科、 脳神経外科、 泌尿器科、リウマチ科、眼科) 訪問看護ステーション 「野の花」開設	皮膚科、小児科、耳鼻咽喉科、 リハビリテーション科、 脳神経外科、泌尿器科、 眼科、麻酔科、 放射線科、循環器科)
1999年 (平成11年)	4月	院外処方箋 運用開始	2003年 (平成15年)
2000年 (平成12年)	2月	田上病院院長に 田上容祥就任	2月 オーダリング システム稼働 (シーエスアイ)
	6月	理学療法II認可	4月 田上診療所開設 (所長に 竹野孝一郎就任)
	7月	種子島サンセット 車いす マラソン大会に 救護ボランティア として参加	5月 第二種感染病床2床、 結核モデル病床2床 使用許可
2001年 (平成13年)	2月	麻酔科、 放射線科新設 標榜科目13 (内科、外科、 整形外科、 皮膚科、小児科、 耳鼻咽喉科、 リハビリテーション科、 脳神経外科、泌尿器科、 リウマチ科、眼科、 麻酔科、放射線科)	6月 病床種別変更 (一般病床 157床から202床に <うち第二種感染症 病床2床> ・結核モデル病床2床 新設・療養型病床群廃止)
2002年 (平成14年)	2月	6階建に増築	8月 病床種別変更 (一般病床202床のうち、 回復期リハビリテーション 病棟36床認可) 看護支援システム稼働
	5月	作業療法II認可	
	8月	電算室増築 循環器科新設・ リウマチ科廃止 標榜科目13 (内科、外科、 整形外科、	2004年 (平成16年)
			1月 電子カルテ システム (診療記録) 稼働 (シーエスアイ)
			5月 心臓カテーテル 検査開始
			6月 病院機能評価 複合B認定 地域リハビリテーション 広域支援センター指定
			10月 病棟再編 内科病棟・整形病棟移動

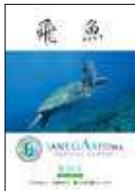


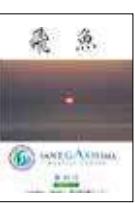
# 沿革

2005年 (平成17年)			2008年 (平成20年)	1月 中央材料室・手術室改築 田上容正理事長 「県民表彰(鹿児島県)」 「市民表彰(西之表市)」受賞
2006年 (平成18年)	4月 病棟再編 15対1入院基本料 (166床) 結核入院基本料 (2床) 回復期 リハビリテーション 病棟(36床) 5月 病棟再編 15対1入院基本料(202床) 3階東病棟 回復期リハビリ病棟の 取り下げ 3階東病棟、4階病棟移動 結核モデル病床2床 7月 病棟再編 15対1入院基本料(154床) 結核入院基本料(2床) 4階病棟 回復期リハビリテーション 病棟(48床) 9月 13対1入院基本料(154床) 11月 10対1入院基本料(154床)		2009年 (平成21年)	4月 亜急性期病床 8床運用開始 (3階東病棟8床) DPC請求開始 管理棟新築 呼吸器科新設 標榜科目15 (内科、外科、整形外科、 皮膚科、小児科、耳鼻咽喉科、 リハビリテーション科、 脳神経外科、泌尿器科、 眼科、麻酔科、放射線科、 循環器科、心療内科、呼吸器科) 『飛魚』が年報誌に
2007年 (平成19年)	1月 心療内科新設 標榜科目14 (内科、外科、 整形外科、 皮膚科、 小児科、 耳鼻咽喉科、 リハビリテーション科、 脳神経外科、泌尿器科、 眼科、麻酔科、放射線科、 循環器科、心療内科) 田上容正理事長 「医療功労賞」受賞 12月 看護師寮新築		2010年 (平成22年)	5月 薬局改築 安全キャビネット・ クリーンベンチ導入 6月 「日本医療機能評価 Ver5.0」認定 9月 亜急性期病床12床へ増床 (3階東病棟8床、 3階西病棟4床) 10月 田上病院開院40周年 記念式典
				2月 リウマチ科新設 標榜科目16 (内科、外科、 整形外科、 皮膚科、小児科、 耳鼻咽喉科、 リハビリテーション科、 脳神経外科、泌尿器科、 眼科、麻酔科、放射線科、 循環器科、心療内科、 呼吸器科、リウマチ科) 4月 社会医療法人認定、改組 会長に田上容正就任 理事長に田上寛容就任 6月 副院長に田上純真就任 8月 ハイケアユニット4床設置 (2階病棟)

		鉄砲まつり手踊り参加		8月 放射線室内ネットワーク 機器更新
2011年 (平成23年)	12月	「鹿児島県がん診療 指定病院」指定		9月 検査画像統合システム・ 放射線情報管理システム更新
	4月	消化器内科新設 標榜科目17 (内科、外科、 整形外科、 皮膚科、 小児科、 耳鼻咽喉科、 リハビリテーション科、 脳神経外科、泌尿器科、 眼科、麻酔科、放射線科、 循環器科、心療内科、 呼吸器科、リウマチ科、 消化器内科)	 第 22 号	10月 亜急性期病床廃止 遠隔医療支援システム (SCOPIA) 稼働
	8月	新電子カルテシステム稼働 (ソフトウェア・サービス)		12月 自動分包機稼働
2012年 (平成24年)	9月	亜急性期病床 16床へ増床 (3階東病棟12床、 3階西病棟4床)	 第 23 号	2015年 (平成27年)
	11月	ハイケアユニット 4床廃止		1月 病棟再編 3階東病棟 地域包括ケア病棟 42床
2013年 (平成25年)	1月	介護保険訪問 リハビリ開設	 第 24 号	4月 脳神経外科医師の 非常勤体制開始 (常勤医不在) へき地診療 支援センター開設 (センター長に 猿渡邦彦就任) 法人事務局長に 羽生守彦就任
	4月	亜急性期病床 20床へ増床 (2階病棟8床、 3階東病棟8床、 3階西病棟4床)		5月 肝臓内科、腎臓内科、血液内科、 糖尿病内科、神経内科、消化器 外科、肝臓・胆のう・膵臓外科、 乳腺・甲状腺外科 新設 標榜科目25 (内科、外科、整形外科、 皮膚科、小児科、耳鼻咽喉科、 リハビリテーション科、 脳神経外科、泌尿器科、 眼科、麻酔科、放射線科、 循環器科、心療内科、呼吸器科、 リウマチ科、消化器内科、 肝臓内科、腎臓内科、血液内科、 糖尿病内科、神経内科、 消化器外科、 肝臓・胆のう・膵臓外科、 乳腺・甲状腺外科)
2014年 (平成26年)	1月	X線TV装置(X線透視装置)更新		5月 遠隔病理診断システム導入 末血検査機器更新
	2月	生化学検査機器更新		医師住宅5棟完成(松島) ステラッド滅菌器更新
	3月	自動精算機1、2号機更新		ペインクリニック内科新設
	4月	DMAT隊結成 副会長に田上容祥就任 病院長に高尾尊身就任 副院長に山口智代子就任		標榜科目26 (内科、外科、整形外科、皮膚科、 小児科、耳鼻咽喉科、 リハビリテーション科)

# 沿革

		脳神経外科、泌尿器科、眼科、麻醉科、放射線科、循環器科、心療内科、呼吸器科、リウマチ科、消化器内科、肝臓内科、腎臓内科、血液内科、糖尿病内科、神経内科、消化器外科、肝臓・胆のう・膵臓外科、乳腺・甲状腺外科、ペインクリニック内科)	2017年 (平成29年)	1月 種子島医療センター 病院祭 2月 病理解剖2例目 実施 3月 医師住宅2棟完成 わらび苑施設長に 猿渡邦彦就任 4月 わらび苑施設長に 猿渡邦彦就任 5月 鹿児島県総合防災訓練 参加 (DMAT隊) 7月 内視鏡室改修 および内視鏡システム更新 9月 ベッド更新10台 10月 「日本ヒト細胞学会 学術集会in種子島」開催 (大会会長 高尾尊身病院長) DMAT訓練に参加	 第 28 号
2016年 (平成28年)	1月 3月 4月 5月 8月 9月 10月	無停電源装置更新 結核病棟の 陰圧工事 病院名を 種子島医療センター に変更 病院長補佐に 花園幸一外科部長、 北園和成内科部長を任命 看護局長に山口智代子就任 看護部長に戸川英子就任 「地域がん診療病院」指定 (厚生労働省) がんサロン「サロン種子島」開設 医師住宅(単身赴任者用) 2棟完成(松畠) 眼底撮影システム一式 更新 全自動散剤分包機 (Sinngle-R93Z II) 更新 病院内空調機更新 訪問リハビリテーションを 訪問看護ステーション 「野の花」に編入 鹿児島県行政視察 (県議会環境厚生委員会) 超音波診断装置ARIETTA70更新 生体情報モニターシステム (オムロンV7000) 更新	2018年 (平成30年)	3月 平成29年度 西之表市 災害対策訓練参加 医師住宅2棟完成 わらび苑施設長 猿渡邦彦 種子島医療センター へ異動 わらび苑施設長に 池村紘一郎就任 ベッド更新50台 看護師特定行為研修者 養成開始 (2名を鹿児島大学へ派遣) 6月 IABP装置導入 「Life on the long board 2nd wave」映画撮影 7月 ベッドサイドモニター2台 人工呼吸器2台増設 8月 副病院長に濱之上雅博就任 眼科用検査機器一式更新 鉄砲まつり手踊り参加 救急自動車導入 9月 「ジロ・デ・種子島2018」 サイクリング大会救護支援 10月 種子島医療センター看護PR大使 に松原奈佑さん(女優)を任命 病理解剖3例目実施 電話機交換、配線工事	 第 29 号

		厨房床改修工事 日本病院機能評価機構による 病院機能評価 受審 病院近隣土地の購入 (1,940.86m <sup>2</sup> )	2021年 (令和3年)	1月 職員宿舎 建設予定地購入 (1,208m <sup>2</sup> ) 2月 新型コロナウイルス 感染症等入院病床 重点医療機関指定 法人看護局長 山口智代子氏 退任 3月 モバイルリアルタイムPCR装置 2台目導入 医療従事者への 新型コロナワクチン接種 1回目実施 田上診療所院長 竹野孝一郎氏 辞職 4月 医療従事者への 新型コロナワクチン接種 2回目実施 田上診療所院長 岩元二郎氏 就任 5月 職員宿舎建設着工 6月 病院北側駐車場新設 3階西病棟トイレ 大規模改修工事 ベッドパンウォッシャー4台導入 8月 2階病棟多目的トイレ オストメイト改修工事 10月 職員宿舎 (スカイブルーハイツ) 2棟 完成 12月 医療従事者への 新型コロナワクチン接種 3回目実施 2階、3階ロビ一大規模改修工事 わらび苑施設長 池村紘一郎氏 辞職	 第32号
2019年 (平成31年/ 令和元年)	1月	社会医療法人に 係る実地検査 (鹿児島県)	 第30号		
	3月	駐車場拡張工事			
	4月	鹿児島大学に 寄付講座 「心血管病予防 分析学講座」設置 事務部に広報企画課設置			
	5月	病院機能評価 (3rdG:Ver. 2.0) 「一般病院2」認定			
2020年 (令和2年)	3月	法人事務局長 羽生守彦氏 辞職	 第31号		
	4月	新型コロナウイルス 感染症拡大に伴い、 入院患者への 面会制限開始			
	7月	発熱・接触者外来 (簡易診察室) 設置・ 稼働開始 モバイルリアルタイム PCR装置導入 行政合同 (保健所・1市2町) での新型コロナウイルス 対策本部設置 新型コロナウイルス 感染症患者の搬送訓練 実施 (合同訓練)			
	8月	HER-SYS稼働開始 通信機器を用いた オンライン面会開始 eラーニングシステムを 用いた院内研修開始			
	11月	新型コロナウイルス 感染症等入院病床 協力医療機関指定			
			2022年 (令和4年)	1月 わらび苑施設長 猿渡邦彦氏 就任 3月 わらび苑施設長 猿渡邦彦氏 辞職 救急チーム結成 5月 わらび苑施設長 松本松昱氏 就任 6月 3階西病棟空調機器更新	 第33号

# 沿革

	8月	医療従事者への 新型コロナワクチン接種4回目		眼科、麻酔科、放射線科、 リハビリテーション科、 心療内科、リウマチ科、 消化器内科、呼吸器内科、 肝臓内科、腎臓内科、 血液内科、糖尿病内科、 神経内科、消化器外科、 肝臓・胆のう・膵臓外科 乳腺・甲状腺外科、救急科)
	9月	全自動化学発光酵素免疫 測定装置 (AIA-CL1200ST) 導入		
	10月	X線骨密度測定装置 (Horizon C) 導入		
2023年 (令和5年)	2月	外科用X線 テレビシステム (OPESCOPE ACTENO) 導入 許可病床数変更 204床 → 188床 2階病棟 55床 → 47床 3階西病棟 59床 → 51床	 第34号	2025年 (令和7年)
	4月	入院基本料区分変更 急性期一般入院料4 → 急性期一般入院料1 看護部長に園田満治就任		3月 わらび苑職員宿舎1棟 新築
	7月	馬毛島巡回診療開始		
2024年 (令和6年)	1月	種子島 医療センター 職員宿舎2棟 新築	 第35号	
	2月	馬毛島診療所開設		
	3月	入院基本料区分 変更 急性期一般入院料1 → 急性期一般入院料2 回復期リハビリテーション病棟 入院料1 → 回復期リハビリテーション 病棟入院料3		
	7月	医療措置協定 (第1種・第2種 協定指定医療機関) 指定		
	11月	病院機能評価 (一般病院2 Ver3.0) 受審 救急科新設、 ペインクリニック内科廃止 標榜診療科26 (内科、循環器内科、外科、 小児科、整形外科、脳神経外科、 耳鼻咽喉科、皮膚科、泌尿器科、		

# 概要

## 1) 名称

社会医療法人 義順顕彰会  
種子島医療センター

## 2) 所在地

〒891-3198  
鹿児島県西之表市西之表7463番地

## 3) 電話・FAX

電話: 0570-09-0960 FAX: 0997-22-1313

## 4) メールアドレス

master@tanegashima-mc.jp

## 5) ホームページ

<https://www.tanegashima-mc.jp>

## 6) 開設者

社会医療法人 義順顕彰会

## 7) 管理者

高尾 尊身

## 8) 診療科目〔26科〕

内科、消化器内科、循環器内科、外科  
整形外科、脳神経外科、小児科、眼科  
リハビリテーション科、麻酔科、リウマチ科  
皮膚科、泌尿器科、耳鼻咽喉科、放射線科  
呼吸器内科、心療内科、神経内科、血液内科  
糖尿病内科、肝臓内科、腎臓内科、消化器外科  
肝臓・胆のう・膵臓外科、乳腺・甲状腺外科  
救急科

## 9) 病床数

188床（うち3階西病棟に感染症病床2床）

病棟名	主な診療科	病床数	4床室	2床室	1床室
2階病棟	外科 整形外科 脳神経外科	47	9	3	5
3階西病棟	内科 小児科 眼科	51	9	5	5
3階東病棟	地域包括ケア	42	7	4	6
4階病棟	回復期リハビリ	48	9	3	6
合計		188	34	15	22

## 10) 指定種別

- ① 保険・公費負担医療機関
  - 感染症指定医療機関（第二種）
  - 感染症指定医療機関（結核）
  - 労災保険指定医療機関
  - 指定自立支援医療機関（育成医療）
  - 指定自立支援医療機関（更生医療）
  - 指定自立支援医療機関（精神通院医療）
  - 生活保護指定医療機関
  - 特定疾患治療研究事業委託医療機関
  - 小児慢性特定疾患治療研究事業委託医療機関
  - 肝炎治療特別促進事業指定医療機関
  - 戦傷病者特別援護法指定医療機関
  - 原子爆弾被害者医療指定
    - ・原子爆弾被害者一般疾病医療取扱医療機関
  - 新型コロナウイルス感染症重点医療機関
- ② 病院機能
  - DPC対象病院
  - べき地医療指定病院
  - 災害拠点病院
  - DMAT指定病院
  - 救急告示病院II類（救急指定二次）
  - SARS受入医療機関
  - エイズ治療・協力病院
  - 地域がん診療病院
  - 難病医療指定協力医療機関
  - 特定健診委託医療機関
  - 結核予防法指定病院
  - 結核ハイリスク者健診事業受託医療機関
  - 人間ドック契約病院
  - ATL検査委託実施医療機関
  - 肝炎診療専門医療機関
  - 消化器がん検診精密検査実施協力医療機関
  - 大腸がん検診精密検査実施協力医療機関
  - 肺がん検診精密検査実施協力医療機関
  - 予防接種相互乗り入れ医療機関
  - 日本整形外科学会認定研修施設
  - 日本麻酔学会麻酔科認定病院
  - 臨床研修関連病院
  - 日本外科学会外科専門医制度関連施設
  - 日本消化器内視鏡学会連携施設
  - 地域リハビリテーション広域支援センター
  - 理学療法士臨床実習指導施設
  - 作業療法士臨床実習指導施設
  - 日本内科学会認定医教育関連病院

日本がん治療認定医機構認定研修施設  
日本肝臓学会肝臓専門医特別連帶施設

### 11) 施設基準

#### ① 基本診療料の施設基準

- 第309号 一般病棟入院基本料  
(急性期一般入院料2)
- 第14号 救急医療管理加算
- 第9号 診療録管理体制加算1
- 第12号 医師事務作業補助体制加算1
- 第3号 急性期看護補助体制加算  
(25対1 看護補助者5割以上)
- 第85号 療養環境加算
- 第461号 重症者等療養環境特別加算
- 第25号 栄養サポートチーム加算
- 第57号 医療安全対策加算2
- 第32号 感染防止対策加算1
- 第37号 後発医薬品使用体制加算2
- 第21号 データ提出加算
- 第211号 入退院支援加算
- 第56号 認知症ケア加算
- 第52号 せん妄ハイリスク患者ケア加算

#### ② 特定入院料

- 第11号 小児入院医療管理料5
- 第28号 回復期リハビリテーション病棟  
入院料3
- 第48号 地域包括ケア病棟入院料1

#### ③ 特掲診療料の施設基準

- 第153号 がん性疼痛緩和指導管理料
- 第41号 がん患者指導管理料イ
- 第34号 がん患者指導管理料ロ
- 第23号 小児科外来診療料
- 第23号 二次性骨折予防継続管理料1
- 第25号 二次性骨折予防継続管理料2
- 第46号 二次性骨折予防継続管理料3
- 第40号 救急搬送看護体制加算
- 第3号 外来腫瘍化学療法診療料1
- 第345号 ニコチン依存症管理料
- 第21号 がん治療連携計画策定料
- 第2号 在宅腫瘍治療電場療法指導管理料
- 第168号 薬剤管理指導料
- 第66号 医療機器安全管理料1
- 第13号 在宅患者訪問看護指導料
- 第99号 検体検査管理加算(I)
- 第47号 時間内歩行試験及び  
シャトルウォーキングテスト

第28号 ヘッドアップティルト試験

第93号 神経学的検査

(令和6年10月30日まで)

第187号 コンタクトレンズ検査料1

第17号 小児食物アレルギー負荷検査

第288号 CT撮影及びMRI撮影

第21号 抗悪性腫瘍剤処方管理加算

第93号 外来化学療法加算1

第61号 無菌製剤処理料

第56号 脳血管疾患等

リハビリテーション料(I)

第96号 運動器リハビリテーション料(I)

第134号 呼吸器リハビリテーション料(I)

第49号 がん患者リハビリテーション料

第14号 認知療法・認知行動療法1

第81号 人工腎臓

第69号 導入期加算1

第3号 透析液水質確保加算

及び慢性維持透析濾過加算

第80号 ペースメーカー移植術

及びペースメーカー交換術

第38号 大動脈バルーンパンピング法  
(IABP法)

第41号 医科点数表第2章第10部  
手術の通則の16に掲げる手術

第17号 輸血管管理料II

第2号 輸血適正使用加算

第26号 人工肛門

・人工膀胱造設術前処置加算

第22号 胃ろう造設時嚥下機能評価加算

第101号 麻酔管理料(I)

第16号 保険医療機関間の連携による  
病理診断

第6号 保険医療機関間の連携における  
デジタル病理画像による術中迅速  
病理組織標本作製

第7号 看護職員処遇改善評価料38

第5号 入院ベースアップ評価料43

第322号 外来・在宅ベースアップ評価料

#### ④ 入院時食事療養及び入院時生活療養

第335号 入院時食事療養(I)

・入院時生活療養(I)

#### ⑤ その他の施設基準

第42914号 酸素の購入単価

# 組織図

Tanegashima Medical Center Annual Report 2025

病院概要

実績

寄稿

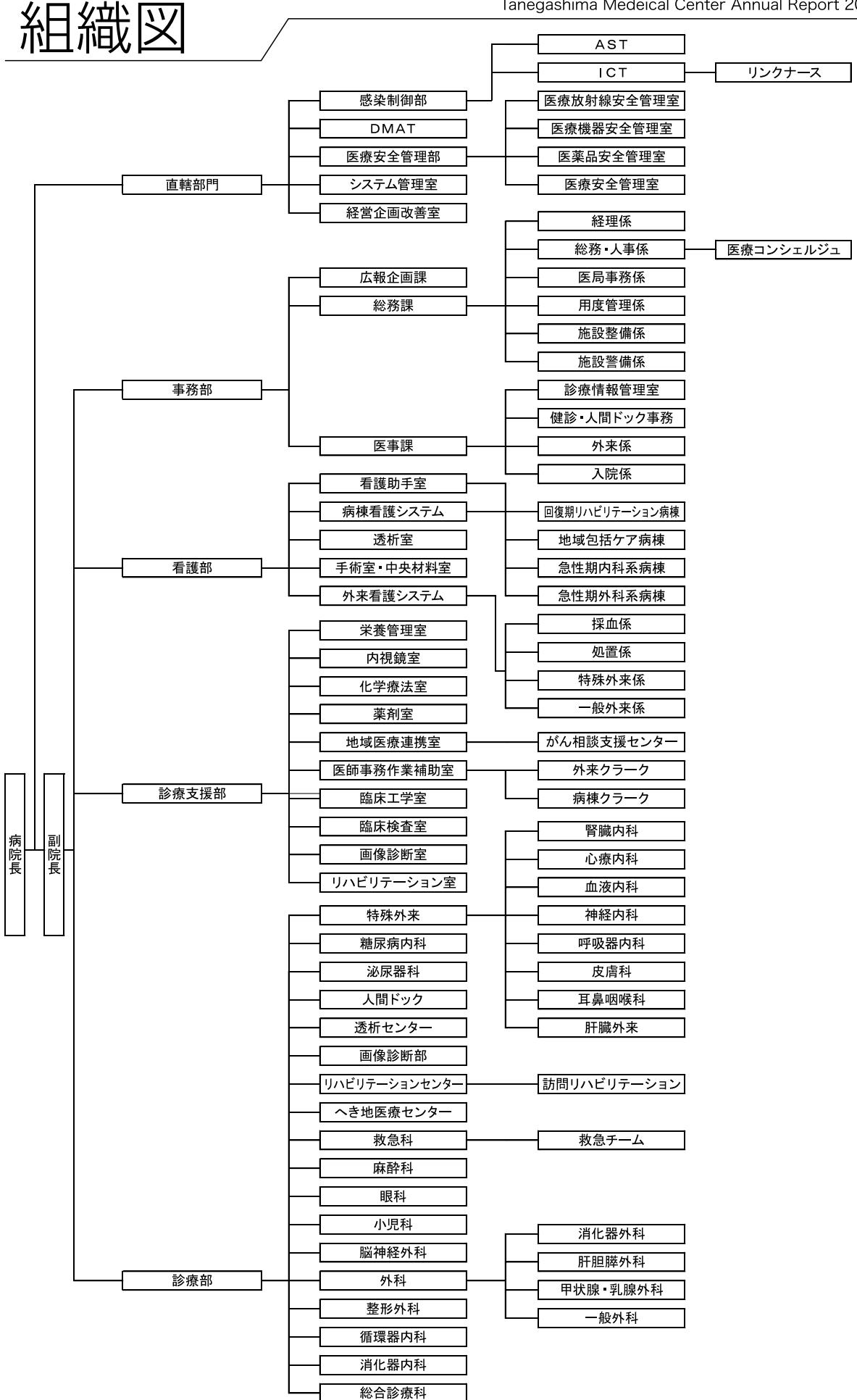
部門紹介

院内委員会

関連施設

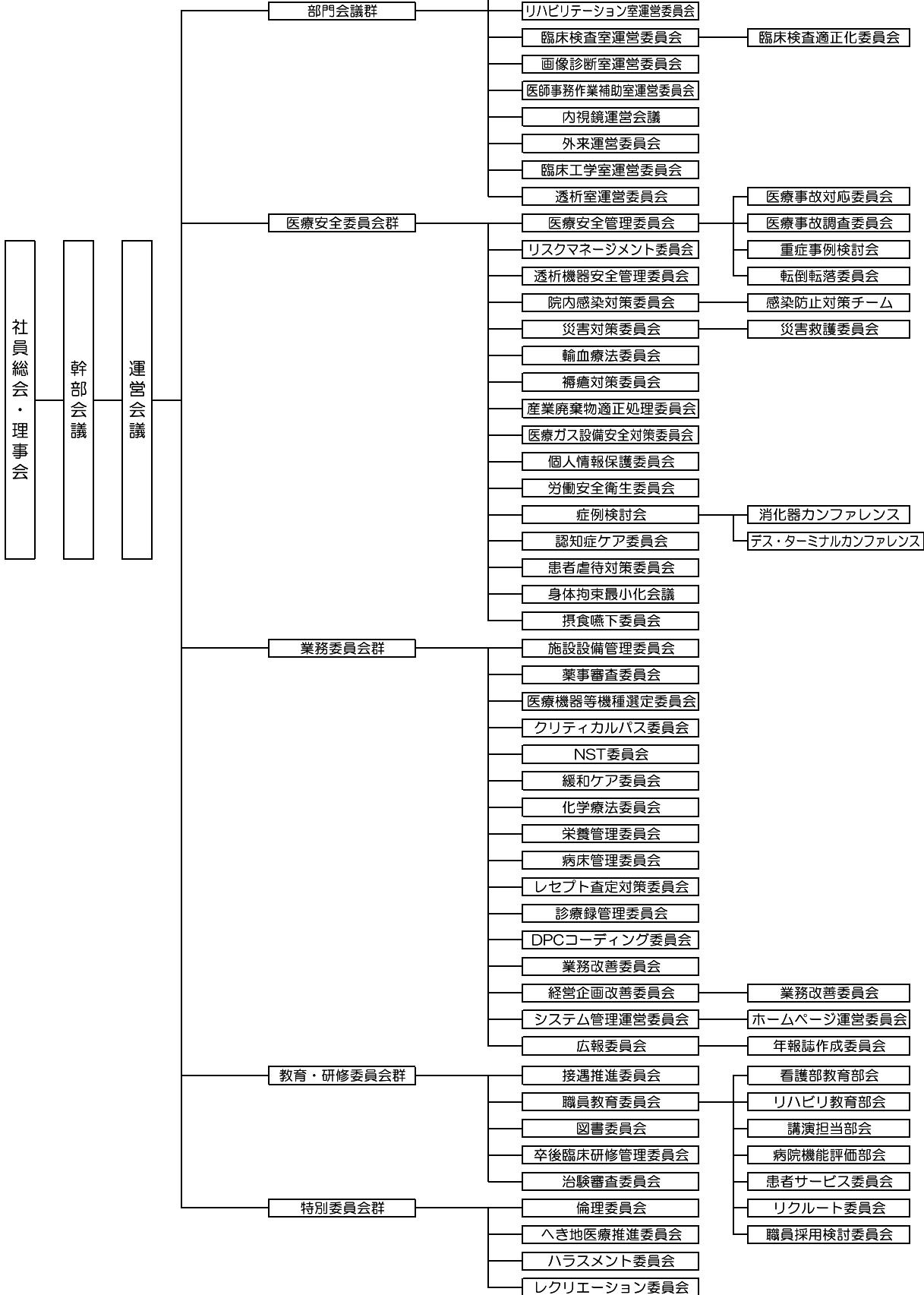
活動紹介

研究・研修



# 委員会・会議組織図

Tanegashima Medeical Center Annual Report 2025



# 在籍医師紹介

Tanegashima Medeical Center Annual Report 2025

(2025年5月付)



社会医療法人義順顕彰会 会長

**田上 容正**  
専門分野  
内科一般  
所属学会  
日本内科学会



種子島医療センター理事長

**田上 寛容**  
専門分野  
内科一般、循環器疾患  
所属学会  
日本内科学会  
日本プライマリ・ケア学会



種子島医療センター病院長

**高尾 尊身**  
専門分野  
外科一般、消化器外科、肝胆脾外科、消化器がん  
所属学会  
日本外科学会 日本消化器外科学会  
日本消化器病学会 日本肝胆脾外科学会  
日本ヒト細胞学会 日本癌学会  
日本癌治療学会

## 外科



外科部長

**松下 大輔**

専門分野  
消化器外科(胃)  
所属学会  
日本外科学会 日本消化器外科学会  
日本臨床外科学会 日本臨床腫瘍学会  
日本内視鏡外科学会 日本癌治療学会  
日本胃癌学会 日本大腸肛門病学会  
国際胃癌学会 胃外科学・術後障害研究会  
AACR(米国癌学会)active member



外科医長

**庄 亮真**



外科副医長

**里井 俊太朗**



**濱之上 雅博**

専門分野  
一般外科、消化器外科、  
肝胆脾外科、消化器がん  
所属学会  
日本外科学会  
日本消化器外科学会  
日本消化器病学会  
(2018年8月～2025年4月在籍 副院長)



**大久保 啓史**

専門分野  
消化器外科(上部消化管)  
所属学会  
日本外科学会  
日本消化器外科学会  
日本臨床外科学会  
日本内視鏡外科学会  
日本消化器病学会  
日本消化器内視鏡学会  
日本胃癌学会  
(2023年4月～2025年3月在籍 外科主任部長)



**金城 多架良**

専門分野  
外科・消化器外科  
所属学会  
日本外科学会  
日本消化器外科学会  
日本内視鏡外科学会  
日本外科感染症学会  
(2024年4月～2025年3月在籍 外科医長)

## 眼科



**田上 純真**

専門分野  
眼科全般  
所属学会  
日本眼科学会

## 脳神経外科



脳神経外科部長

**渡邊 章二**

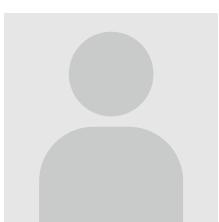
専門分野  
脳神経外科一般  
所属学会  
日本脳神経外科学会  
日本脳神経血管内治療学会  
日本脳卒中学会  
日本脳卒中の外科学会



脳神経外科医長

**木佐貫 彩**

専門分野  
脳神経外科一般  
所属学会  
日本脳神経外科学会  
日本脳神経血管内治療学会  
日本脳卒中学会  
(2024年4月～2025年3月在籍 脳神経外科部長)



**田上 なつ子**

専門分野  
脳神経外科全般  
所属学会  
日本脳神経外科学会  
日本脳神経血管内治療学会  
日本脳卒中学会  
(2024年4月～2025年3月在籍 脳神経外科医長)



**森川 将行**

専門分野  
脳神経外科一般  
所属学会  
日本脳神経外科学会  
日本脳神経血管内治療学会  
(2024年4月～12月在籍 脳神経外科医長)

# 在籍医師紹介

Tanegashima Medeical Center Annual Report 2025

## 整形外科



整形外科部長

堀之内 駿

専門分野  
膝・股関節の人工関節  
所属学会  
日本整形外科学会  
西日本整形外科学会  
災害外科学会



整形外科医長

高田 壽愚瑠

専門分野  
一般整形外科  
所属学会  
日本整形外科学会  
日本人工関節学会



整形外科副医長

吉元 秋穂

専門分野  
一般整形外科  
所属学会  
日本整形外科学会  
日本骨关节病学会  
西日本整形・災害外科学会



瀬戸山 傑

専門分野  
外傷、骨折  
所属学会  
日本整形外科学会  
日本整形外傷学会  
日本股関節学会  
日本骨粗鬆症学会  
(2022年10月～2025年3月在籍 整形外科部長)



脇丸 祐

専門分野  
整形外科一般  
所属学会

日本整形外科学会  
(2024年4月～2025年3月在籍  
整形外科医長)

## 内科・総合診療科



診療科医長

島田 紘一

専門分野  
内科一般、消化器内科  
所属学会  
日本内科学会  
日本臨床内科学会  
日本消化器病学会  
日本消化器内視鏡学会

## 循環器内科



循環器内科部長

蘭田 剛嗣

専門分野  
循環器全般  
所属学会  
日本内科学会  
日本循環器学会  
日本心血管インターベンション治療学会  
日本経カテーテル心臓弁治療学会



循環器内科医長

田方 健人

専門分野  
循環器内科、カテーテル治療  
所属学会  
日本内科学会  
日本循環器学会  
日本心血管インターベンション治療学会  
日本経カテーテル心臓弁治療学会



循環器内科副医長

溝田 唯伊

所属学会  
日本内科学会  
日本循環器学会



東 祐大

専門分野  
循環器内科  
所属学会  
日本内科学会  
日本循環器学会  
日本心血管インターベンション治療学会  
日本心臓リハビリテーション  
(2024年4月～2025年3月在籍 循環器内科医長)

小牟禮 大地

専門分野  
循環器内科  
所属学会

日本内科学会 日本循環器学会  
(2024年4月～2025年3月在籍 循環器内科副医長)

## 泌尿器科



泌尿器科部長

中目 康彦

専門分野  
泌尿器科一般、透析  
所属学会  
日本泌尿器科学会  
日本透析医学会

# 在籍医師紹介

## 小児科



**小児科部長・田上診療所所長**  
岩元 二郎  
**専門分野**  
小児科全般、発達障害  
**所属学会**  
日本小児科学会  
日本小児救急医学会  
日本外来小児科学会



**小児科医長**  
西 遼太郎  
**専門分野**  
小児科  
**所属学会**  
日本小児科学会  
日本新生児生育医学  
日本臨床栄養代謝学会  
日本栄養治療学会



**小児科副医長**  
石坂 俊介  
**専門分野**  
内分泌  
**所属学会**  
日本小児科学会



**塩川 直宏**  
**専門分野**  
小児循環器  
**所属学会**  
日本小児科学会  
日本小児循環器学会  
日本小児呼吸器学会  
日本小児心電学会  
(2024年4月～2025年3月在籍 小児科医長)

## 消化器内科



**消化器内科部長**  
福迫 哲史  
**専門分野**  
消化器内科  
**所属学会**  
日本消化器病学会  
日本消化管学会  
日本消化器内視鏡学会  
日本内科学会



**消化器内科医長**  
桑原 萌絵未  
**所属学会**  
日本内科学会  
日本消化器病学会



**宮田 尚幸**  
**専門分野**  
消化器疾患  
**所属学会**  
日本内科学会  
日本消化器病学会  
日本消化器内視鏡学会  
(2023年4月～2025年3月在籍 消化器内科部長)



**徳田 弘幸**  
**専門分野**  
消化器内科  
**所属学会**  
日本内科学会  
日本消化器病学会  
日本消化器内視鏡学会  
(2024年4月～2025年3月在籍 消化器内科医長)

## 糖尿病内科



**糖尿病内科部長**  
山神 大  
**専門分野**  
糖尿病内科、内分泌内科  
**所属学会**  
日本内科学会  
日本糖尿病学会  
日本内分泌学会  
日本甲状腺学会



**糖尿病内科医長**  
中村 香織  
**専門分野**  
糖尿病内科、内分泌内科  
**所属学会**  
日本内科学会  
日本糖尿病学会  
日本内分泌学会



**糖尿病内科副医長**  
堀之内 咲衣  
**専門分野**  
糖尿病内科、内分泌内科  
**所属学会**  
日本内科学会  
日本糖尿病学会  
日本内分泌学会



**久保 智**  
**専門分野**  
糖尿病内科  
**所属学会**  
日本内科学会  
日本内分泌学会  
日本糖尿病学会  
日本甲状腺学会  
日本超音波学会  
(2021年4月～2025年3月在籍 糖尿病内科部長)

## 麻酔科



**災害医療・病院長補佐**  
高山 千史  
**専門分野**  
麻酔科全般  
**所属学会**  
日本麻酔科学会



**麻酔科部長**  
多田 直綱  
**専門分野**  
麻酔科全般、区域麻酔  
**所属学会**  
日本麻酔科学会  
日本ペインクリニック学会  
日本区域麻酔学会

## 放射線科



**病院長補佐 救急科科長兼放射線科部長**  
野田 健仁  
**専門分野**  
救急診療、総合内科、画像診断  
**所属学会**  
日本内科学会  
日本医学放射線学会  
日本イタベンショナルラジオロジー学会  
日本救急医学会

## 職員数

Tanegashima Medeical Center Annual Report 2025

(各年度4月1日現在) 単位:人

	H31年度		R2年度		R3年度		R4年度		R5年度		R6年度	
	常勤	非常勤										
医師	20		19		21		23		24		25	
看護師	(計 171)	(計 25)	(計 166)	(計 27)	(計 163)	(計 29)	(計 151)	(計 32)	(計 137)	(計 35)	(計 128)	(計 32)
正看護師	96	9	94	7	93	8	79	8	73	10	73	9
准看護師	35	4	31	4	29	3	27	5	21	8	20	8
看護助手	28	9	32	10	32	11	33	12	31	10	27	9
クラーク	12	3	9	6	9	7	12	7	12	7	8	6
薬剤師	5	0	5	0	4	1	4	0	3	1	3	1
放射線技師	7	0	7	0	8	0	9	0	7	0	9	0
臨床検査技師	5	1	5	1	5	1	5	1	5	1	5	1
リハビリテーション室	(計 64)	(計 1)	(計 64)	(計 2)	(計 68)	(計 1)	(計 59)	(計 1)	(計 50)	(計 1)	(計 46)	(計 2)
理学療法士	38	1	37	2	42	1	35	1	29	1	26	2
作業療法士	19	0	19	0	19	0	18	0	15	0	13	0
言語聴覚士	4	0	5	0	6	0	6	0	6	0	7	0
あん摩指圧	3	0	3	0	1	0	0	0	0	0	0	0
臨床工学技士	10	0	10	0	9	0	7	0	7	0	6	1
管理栄養士(栄養士含む)	4	0	4	0	3	0	3	0	3	0	4	0
医事課	(計 10)	(計 12)	(計 10)	(計 12)	(計 13)	(計 11)	(計 10)	(計 11)	(計 10)	(計 7)	(計 11)	(計 12)
〃(入院)	3	0	3	0	3	0	3	0	3	0	2	0
〃(外来)	7	6	7	6	10	4	7	4	7	1	9	3
〃(フロア)	0	4	0	4	0	4	0	4	0	3	0	5
〃(電話)	0	2	0	3	0	3	0	3	0	3	0	3
医療情報管理	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0
システム管理室	1	0	1	0	4	0	3	0	3	0	3	0
地域医療連携室	2	0	2	0	3	0	3	0	3	0	3	0
事務室	10	1	9	1	11	1	9	2	12	2	13	1
庶務	3	8	3	6	3	6	3	6	3	7	3	9
用度管理室	2	0	2	0	2	0	2	1	2	0	2	0
保育所	3	2	3	2	3	3	3	1	3	1	3	1
その他	7	3	7	3	7	3	7	4	8	3	7	3
合計	325	53	318	55	328	56	302	60	281	58	272	62

年	月	日	内 容
令和6年	4	1	新入職辞令交付式 自動音声案内サービス「ナビダイヤル」運用開始
		10	新入職員歓迎会：ホテルニュー種子島カラベル
		16	鹿児島県医療法人協会立看護専門学校 病院説明会 看護部長 園田満治、副看護部長 竹之内卓
		1~30	研修医受入（鹿児島大学病院 1名）
		1~5/31	研修医受入（鹿児島大学病院 2名）
	5	14	日本臨床内科医会「地域医療功労賞」受賞 診療科医長 島田紘一先生
		25	第65回 研修医症例発表会～研修を終えて～ 本田七海先生（鹿児島大学病院）
		1	「へいじろう」2024春 第69号発刊
		1~31	研修医受入（福岡大学病院 1名）
		5	こども祭りイベント参加（西之表商工会主催）
	6	14~16	職業体験学習（種子島中学校3年生16名）
		19	公開講座 『胃・大腸カメラについて』 講師：消化器内科部長 宮田尚幸先生 副看護師長・第1種消化器内視鏡技師 荒木敦
		27	第66回 研修医症例発表会～研修を終えて～ 副島太郎久先生（福岡大学病院） 飯野友海先生、今福渚先生（鹿児島大学病院）
		28	院内感染勉強会 『今年度の感染管理体制』～院内体制と対外活動(トリプル報酬改定)～ 講師：感染制御部 検査室室長 遠藤禎幸 薬剤部主任 濱口匠 感染管理認定看護師 下江理沙
		30	クリーン大作戦(病院周辺清掃)
		30	地域がん診療病院がん医療従事者研修事業 『たねがしま地域の緩和ケア充実を目指して』 講師：東北大大学院医学系研究科 緩和医療学分野 講師 田上恵太先生
		1	院内トレーニングジム「たねザップ」開設
		1~30	研修医受入（南風病院 1名、鹿児島医療センター2名）
		5	「エクスプローラーズ鹿児島」表敬訪問
		15	鹿児島県医師会長賞「看護業務功労賞」受賞 橋口みゆき、中野美千代
	7	22	避難訓練・消火訓練実施
		26	医療安全研修会 『あなたのインシデント報告が患者安全文化を醸成する』 講師：鹿児島大学病院 医療安全管理部 部長 教授 内門泰斗先生
		27	第67回 研修医症例発表会～研修を終えて～ 植田直生先生(南風病院) 石丸綺梨先生、中馬洋介先生（鹿児島医療センター）
		1~31	研修医受入（鹿児島医療センター3名、福岡大学病院1名、鹿児島大学病院1名）
		1~31	医療安全研修会eラーニング 『造影検査のリスクマネジメント』 講師：診療放射線室
	7	5	めいろうこども園 七夕飾り贈呈
		24	医療安全対策地域連携加算に係る相互評価訪問 評価実施施設：天陽会中央病院
		25、26	院内研修会 『ハラスマントについて～ハラメントと向き合う～』 講師：株式会社 L a m p 社（産業保健師）上野多吉子様
		29	第68回 研修医症例発表会～研修を終えて～ 松尾健人先生（福岡大学病院） 松枝奏茉先生（鹿児島大学病院） 尾辻良彦先生、田中大智先生、松下朋彦先生（鹿児島医療センター）

年	月	日	内 容
令和6年	8	1~31 1~31 3 4 10 23~9/10 23 25 26~30 28 31	研修医受入（福岡大学病院 1名、鹿児島医療センター 1名） 医療安全研修会 eラーニング 『人工呼吸器のグラフィックモニタを理解する』 講師：臨床工学室 細山田 重樹 ふれあい看護体験（種子島高校生 10名、種子島中央高校生 1名） 公開講座 『整形について』 講師：整形外科部長 濱戸山 傑先生 運動器認定理学療法士 山口 純平 「へいじろう」2024夏 第70号発刊 研修医受入（済生会 松山病院1名） 職員親睦会（B B Q）：花里浜公園 第55回 種子島鉄砲まつり 団体手踊り参加 職員健診・ストレスチェック実施 台風10号に伴う対策会議 年報誌「飛魚」第35号発刊
	9	2~28 2~10/30 9 20~10/8 26 27	研修医受入（福岡大学病院 1名、鹿児島市医師会病院 1名） 研修医受入（鹿児島大学病院 1名） 第70回 研修医症例発表会～研修を終えて～ 大政 洋星先生（済生会 松山病院） 研修医受入（済生会 松山病院 1名） 第71回 研修医症例発表会～研修を終えて～ 宮里 衣望先生（福岡大学病院） 池田 祐一先生（鹿児島市医師会病院） 医療監視（西之表保健所による立入検査）
	10	1~25 1~30 2~4 7 11 18~11/5 20 23~25 24 24 24 30	研修医受入（北海道大学病院 1名） 研修医受入（福岡大学病院 1名） 種子島中央高等学校就業体験学習 6名 第72回 研修医症例発表会～研修を終えて～ 大谷 道隆先生（済生会 松山病院） 地域がん診療病院がん医療従事者研修事業 『がんリハビリテーションと職種ごとのリハビリテーション』 講師：リハビリテーション室 理学療法士 坂ノ上 兼一 作業療法士 一葉 茜音 言語聴覚士 長田 和也 研修医受入（済生会 松山病院 1名） 公開講座 『がんのお話』 講師：病院長 高尾 尊身先生 外科主任部長 大久保 啓史先生 がん化学療法看護認定看護師 山之内 信師長 種子島高等学校就業体験学習 16名 九州厚生局 施設基準に係る適時調査 第73回 研修医症例発表会～研修を終えて～ 小澤 隼先生（北海道大学病院） 橋本 周弥先生（福岡大学病院） 是枝 陸先生（鹿児島大学病院） 令和6年度 集団災害救急事故訓練（熊毛地区消防組合）DMAT参加 感染対策向上加算1地域連携相互ラウンド 評価実施病院：鹿児島大学病院

年	月	日	内 容
令和6年	11	4 5~29 5~12/27 7 11 14、15 18~20 19 21 25 26	緩和ケア研修会（PEACE） 研修医受入（福岡大学病院 1名、鹿児島大学病院 1名） 研修医受入（鹿児島大学病院 1名） 外国人看護助手採用選考会 「へいじろう」2024秋 第71号発刊 病院機能評価受審 季節性インフルエンザ集団接種 標榜診療科目の変更 ペインクリニック内科（削除）、救急科（新設） 医療安全研修会 『医療安全の知識と実践』 講師：病院長 高尾 尊身先生 第74回 研修医症例発表会～研修を終えて～ 紙谷 離子先生（福岡大学病院） 尾辻 香名先生（鹿児島大学病院） 院内感染勉強会 『手指衛生を大切にしよう』～院内データを見て理解する～ 講師：感染対策チーム 下江 理沙、安田 英佳
令和6年	12	2~27 5 9 11 13 14 15 21 25 30	研修医受入（福岡大学病院1名、鹿児島大学病院1名） 令和6年 医療機関・福祉施設連携新興感染症等訓練 院内講演会 『エクセレントな臨床看護サービス提供のための組織的改善』 講師：東京大学総括プロジェクト機構 『QualityとHealthを基盤におくサービスエクセレンス社会システム工学』総括寄付講座 特任教授 水流 聰子先生 イルミネーション点灯式 地域がん診療病院がん医療従事者研修事業 『抗がん剤における急性アレルギーへの対応』 講師：看護師長・がん化学療法看護認定看護師 山之内 信 サロン種子島・クリスマス音楽会 ピアノ演奏：めいろうこども園 音楽教諭 池田 栄子先生 川畑 結愛さん、西 美島さん、西 美星さん、美坂 貴一さん 公開講座 『人類と感染症の歴史から学ぶ』～感染対策の今とこれから～ 小児科 医長 塩川直宏先生 院内保育所クリスマス訪問 第75回 研修医症例発表会～研修を終えて～ 濱田 良子先生（鹿児島大学病院） 瀬戸 瑞稀先生（鹿児島大学病院） 松本 尚也先生（福岡大学病院） 仕事納め
令和7年	1	4 4 6~31 24 25 27 30	仕事始め 永年勤続者表彰（11名） 研修医受入（福岡大学病院4名） 地域がん診療病院がん医療従事者研修事業 『がん悪液質の概念と治療について』 講師：薬剤室 室長 濱口 匠 避難訓練実施 第76回 研修医症例発表会～研修を終えて～ 井上 愛美先生、寺井 誠先生、古賀 匠貴先生、古賀 匠先生（福岡大学病院） 種子島中学校 職業講話参加 病棟看護主任 羽嶋 民子

# 病院日誌

Tanegashima Medeical Center Annual Report 2025

年	月	日	内 容
	2	3 12 15 17~21 21 21	プロテニスプレーヤー 姫野 ナルさん表敬訪問 医療安全研修会 『RCA分析って何だ?~今後のリスク運用に向けて~』 講師:病棟副看護師長 田中 加奈 「へいじろう」2025冬 第72号発刊 特定業務従事者及び電離放射線業務職員健診 地元企業説明会参加:種子島高校 地域がん診療病院事業 緩和ケア研修 『喪失・悲嘆のケア』 講師:病棟看護師長 緩和ケア認定看護師 丸野 嘉行
令和7年	3	3 6 21 23 25 30	退職講演会① 糖尿病内科 久保 智先生 循環器内科 東 祐大先生 外科 金城 多架良先生 消化器内科 宮田 尚幸先生 脳神経外科 田上 なつ子先生 退職講演会② 消化器内科 徳田 弘幸先生 整形外科 脇丸 祐先生 循環器内科 小牟禮 大地先生 小児科 塩川 直宏先生 外科 大久保 啓史先生 医局歓送会:焼酎BAR種子島 地域がん診療病院事業 がん講演会『大人のがん教育』 講師:NPO法人がんサポートかごしま 理事長 三好 綾さん 院内感染研修会 『考えて動く!現場の力で変わる感染対策』 講師:感染管理認定看護師 下江 理沙 (サポート:感染対策チーム) 公開講座 熊毛広域高齢者保健福祉圏域地域リハビリテーション広域支援センター主催 『重い!!つらい!!肩こり改善!!肩こり体操』 講師:理学療法士 小川 哲哉 『現代のこどもたちに寄り添う』~種子島の未来のために地域でできること~ 講師:作業療法士・相談支援専門員・子育て支援員 立花 悟さん